



# 令和6年度 園だより 2月号

R7.2.1 認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園

一年の中で最も寒さの厳しい大寒が過ぎ、園庭の日差しが温かく感じられるようになりました。日本海側では大雪が降って、雪かきなど大変な様子がニュースで流れていますが、千葉は本当に温かく住みやすい地域だなあと感じます。今年は雨が少ないので、園庭も霜柱が立たず、子どもたちはサッカーや鬼ごっこ、スクーターなどで思い思いの遊びを楽しんでいます。

早稲田大学教授で医学博士の前橋明先生は外遊びについて次のようにお話されています。

発育期の子どもたちには外での遊びがとても大切です。しかし、コロナ禍以降、子どもたちの生活の中での運動量が激減していることがとても気になります。子どもが健全に育っていくためには、「時間」「空間」「仲間」という3つの間（マ）が必要不可欠とされています。そして、太陽のもとで、日中からだを動かすことは、体力向上だけでなく、脳の発達や自律神経機能の強化、近視の発症予防と進行抑制、情緒の安定、創造性・自主性の向上につながります。現代ではこの「三間（サンマ）が喪失し、「間（マ）抜け現象」に陥っています。

運動して、エネルギーを発散し、情緒の解放を図ることの重要性を見逃してはならないのです。とくに幼少期には、2時間程度の外遊びが非常に大切になくなります。時がたつのを忘れて、外遊びに熱中できる環境を保障していくことで、子どもたちは安心して成長していけます。

敬愛幼稚園では、毎日外遊びの時間をたっぷりとっています。それでも子どもたちからは「もっと遊びた〜い！」との声が聞かれます。友だちと過ごす時間が楽しくてたまらないという様子を見ていると逞しさを感じます。これからも心と体の健康のために豊かな遊び体験ができるよう見守ってまいりたいと思います。

園長 和田 由美

	今月のねらい	今月のうた
年少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびと活動し小グループでのかかわりを楽しむ</li> <li>・いろいろな素材にふれ、制作を楽しむ</li> </ul>	まめまき コンコンクシャンのうた
年中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで活動する楽しさを知り、進んで遊びに参加する</li> <li>・いろいろな素材にふれ、自分のイメージしたものを形にする楽しさを味わう</li> </ul>	コンコンクシャンのうた ともだちになるために
年長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が力を出し合い、相手を認め合いながら、遊びを進めることができる</li> <li>・卒園までの見通しをもって、意欲的に活動に取り組む</li> </ul>	世界がひとつになるまで ありがとう ころろをこめて



こどもの姿から・・・ 3学期になって、子どもたちの遊びが個から集団に変わってきていることを感じます。年長ともなると、先生がいなくても自分たちでルールを決めて遊び、トラブルが起きて自分たちで解決しています。年中・年少は、みんなで同じことをする楽しさや自分のやりたいことができる喜びを感じながら過ごしています。「〇〇くん 〇〇ちゃん 一緒に遊ぼう！」から「みんなでやろう！」へ変わっていく中で、コミュニケーション力が育まれていくようです。